



平成31年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月29日

上場会社名 株式会社 内田洋行

上場取引所 東

コード番号 8057 URL <http://www.uchida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 昇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営管理統括グループ副統括財務担当 (氏名) 林 敏寿

TEL 03-3555-4066

四半期報告書提出予定日 平成30年12月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年7月期第1四半期の連結業績(平成30年7月21日～平成30年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年7月期第1四半期 | 33,160 | 3.0 | 90 | 82.3 | 136 | 75.3 | 10 | 96.1 |
| 30年7月期第1四半期 | 34,194 | 11.8 | 507 | 2.0 | 551 | 13.2 | 279 | 26.9 |

(注)包括利益 31年7月期第1四半期 302百万円 (47.0%) 30年7月期第1四半期 569百万円 (4.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年7月期第1四半期 | 1.12 | |
| 30年7月期第1四半期 | 27.91 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年7月期第1四半期 | 89,934 | | 36,896 | | | 37.7 |
| 30年7月期 | 89,410 | | 37,403 | | | 38.5 |

(参考)自己資本 31年7月期第1四半期 33,950百万円 30年7月期 34,432百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年7月期 | | | | 75.00 | 75.00 |
| 31年7月期 | | | | | |
| 31年7月期(予想) | | | | 75.00 | 75.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年7月期の連結業績予想(平成30年7月21日～平成31年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 156,000 | 3.0 | 3,050 | 3.7 | 3,330 | 2.4 | 1,950 | 6.5 | 199.42 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年7月期1Q | 10,419,371 株 | 30年7月期 | 10,419,371 株 |
| 期末自己株式数 | 31年7月期1Q | 641,074 株 | 30年7月期 | 640,933 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年7月期1Q | 9,778,348 株 | 30年7月期1Q | 10,013,686 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記..... | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調を維持しておりますが、先行きについては、相次ぐ自然災害の経済に与える影響や、米中貿易摩擦の拡大等が世界経済に与える影響も懸念されます。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、民間向け情報分野におけるソフトウェアライセンス販売が順調に推移したものの、小中高校向け教育 ICT 分野で大型案件が第2四半期以降に延伸したこと等の影響で、331億6千万円（前年同期比 3.0%減）となりました。

利益面では、上記延伸による影響のほか、人員増等に伴う人件費の増加や社内基幹システムの減価償却費の増加等もあり、営業利益は9千万円（前年同期比 82.3%減）となりました。

また、経常利益は1億3千6百万円（前年同期比 75.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1千万円（前年同期比 96.1%減）となりました。

なお、当社グループの業績は、多くの顧客の決算期にあたる当社第3四半期連結会計期間に売上が多く計上されるという季節変動要因を抱えております。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの業績は以下の通りであります。

<公共関連事業分野>

公共関連事業分野では、拡大基調が期待された小中高校向け教育 ICT 分野においてインテル社製 CPU が世界規模で不足していることから、大型案件が第2四半期以降にスライドした影響もあり、また、学校や官公庁の施設設備分野では案件の端境期にあることから、売上高は151億1千6百万円（前年同期比 14.1%減）となりました。

利益面では、営業利益は8億1千2百万円（前年同期比 38.9%減）となりました。

<オフィス関連事業分野>

オフィス関連事業分野では、首都圏を中心とした大型オフィスの供給は伸長傾向にあるものの、オフィスビルの空室率の低下が続き、移転がしにくい状況が継続している影響もあり、売上高は95億1千9百万円（前年同期比 0.4%減）となりました。

利益面では、営業損失はほぼ前年同額の5億8千9百万円（前年同期は5億8千9百万円の営業損失）となりました。

<情報関連事業分野>

情報関連事業分野では、大手企業向けソフトウェアライセンス販売において、製造業を中心とした好調な企業業績や人員増といった市場環境に、Windows10への更新需要も加わったことにより、売上高は83億3千1百万円（前年同期比 22.0%増）となりました。

利益面では、前年同四半期から1億2千万円改善し、営業損失1億5千万円（前年同期は2億7千1百万円の営業損失）となりました。

<その他>

主な事業は教育研修事業と人材派遣事業であり、売上高は1億9千3百万円（前年同期比 7.8%減）、営業損失は1千2百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の部>

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億2千4百万円増加し、899億3千4百万円となりました。流動資産は、仕掛品の増加10億7千5百万円、現金及び預金の増加7億5千8百万円、および受取手形及び売掛金の減少16億2千1百万円等により前連結会計年度末に比べ3億1千万円増加し、600億7千5百万円となりました。また固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億1千4百万円増加し、298億5千9百万円となりました。

<負債及び純資産の部>

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億3千1百万円増加し、530億3千7百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加31億2千万円、および仕入債務の減少25億9千1百万円等により前連結会計年度末に比べ10億3千8百万円増加し、428億4千2百万円となりました。また固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、101億9千5百万円となりました。

純資産合計は、剰余金の配当7億3千3百万円による減少、および上場有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加1億円等により、前連結会計年度末に比べ5億6百万円減少し、368億9千6百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.5%から0.8ポイント低下し、37.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年7月期の業績予想につきましては、平成30年8月31日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年7月20日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年10月20日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,371 | 18,129 |
| 受取手形及び売掛金 | 28,812 | 27,190 |
| 有価証券 | 1,500 | 1,500 |
| 商品及び製品 | 5,536 | 5,384 |
| 仕掛品 | 4,264 | 5,339 |
| 原材料及び貯蔵品 | 502 | 532 |
| 短期貸付金 | 375 | 405 |
| その他 | 1,653 | 1,875 |
| 貸倒引当金 | △250 | △282 |
| 流動資産合計 | 59,764 | 60,075 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,739 | 3,701 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 285 | 269 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 990 | 922 |
| リース資産(純額) | 119 | 112 |
| 土地 | 7,459 | 7,461 |
| 有形固定資産合計 | 12,595 | 12,466 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 3,584 | 3,476 |
| その他 | 61 | 57 |
| 無形固定資産合計 | 3,646 | 3,533 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,617 | 8,781 |
| 長期貸付金 | 1,164 | 1,161 |
| 退職給付に係る資産 | 8 | 96 |
| 繰延税金資産 | 2,649 | 2,836 |
| その他 | 1,119 | 1,136 |
| 貸倒引当金 | △155 | △153 |
| 投資その他の資産合計 | 13,403 | 13,859 |
| 固定資産合計 | 29,645 | 29,859 |
| 資産合計 | 89,410 | 89,934 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年7月20日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年10月20日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,125 | 16,111 |
| 電子記録債務 | 8,504 | 6,926 |
| 短期借入金 | 3,060 | 6,180 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 500 | 500 |
| 未払費用 | 4,036 | 3,688 |
| 未払法人税等 | 549 | 338 |
| 未払消費税等 | 498 | 502 |
| 賞与引当金 | 2,068 | 3,243 |
| 工事損失引当金 | 62 | 97 |
| その他 | 5,399 | 5,253 |
| 流動負債合計 | 41,804 | 42,842 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 17 | 3 |
| 退職給付に係る負債 | 7,280 | 7,279 |
| 資産除去債務 | 227 | 228 |
| その他 | 2,676 | 2,684 |
| 固定負債合計 | 10,202 | 10,195 |
| 負債合計 | 52,006 | 53,037 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,000 | 5,000 |
| 資本剰余金 | 3,223 | 3,223 |
| 利益剰余金 | 26,846 | 26,124 |
| 自己株式 | △1,545 | △1,546 |
| 株主資本合計 | 33,524 | 32,801 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,809 | 2,910 |
| 為替換算調整勘定 | △281 | △238 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,620 | △1,523 |
| その他の包括利益累計額合計 | 907 | 1,148 |
| 非支配株主持分 | 2,971 | 2,946 |
| 純資産合計 | 37,403 | 36,896 |
| 負債純資産合計 | 89,410 | 89,934 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月21日 至平成29年10月20日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月21日 至平成30年10月20日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 34,194 | 33,160 |
| 売上原価 | 25,752 | 24,996 |
| 売上総利益 | 8,442 | 8,163 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,934 | 8,073 |
| 営業利益 | 507 | 90 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 12 |
| 受取配当金 | 17 | 7 |
| 持分法による投資利益 | 2 | 23 |
| その他 | 78 | 70 |
| 営業外収益合計 | 109 | 114 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14 | 17 |
| 売上割引 | 12 | 9 |
| 貸倒引当金繰入額 | 29 | 18 |
| その他 | 10 | 22 |
| 営業外費用合計 | 66 | 67 |
| 経常利益 | 551 | 136 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 0 |
| 特別損失合計 | — | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 551 | 136 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 378 | 370 |
| 法人税等調整額 | △197 | △294 |
| 法人税等合計 | 180 | 76 |
| 四半期純利益 | 370 | 59 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 91 | 48 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 279 | 10 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月21日 至 平成29年10月20日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年7月21日 至 平成30年10月20日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 370 | 59 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 99 | 108 |
| 為替換算調整勘定 | 25 | 42 |
| 退職給付に係る調整額 | 67 | 98 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 6 | △7 |
| その他の包括利益合計 | 198 | 242 |
| 四半期包括利益 | 569 | 302 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 476 | 251 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 93 | 50 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示していません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年7月21日 至 平成29年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 公共関連 事業 | オフィス関連 事業 | 情報関連 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,602 | 9,555 | 6,826 | 33,984 | 209 | 34,194 | - | 34,194 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 179 | 86 | 45 | 312 | 885 | 1,197 | △1,197 | - |
| 計 | 17,781 | 9,642 | 6,872 | 34,296 | 1,095 | 35,392 | △1,197 | 34,194 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,330 | △589 | △271 | 469 | 2 | 471 | 35 | 507 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育研修事業、人材派遣事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年7月21日 至 平成30年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 公共関連 事業 | オフィス関連 事業 | 情報関連 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,116 | 9,519 | 8,331 | 32,966 | 193 | 33,160 | - | 33,160 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 192 | 60 | 26 | 279 | 848 | 1,128 | △1,128 | - |
| 計 | 15,309 | 9,579 | 8,357 | 33,246 | 1,041 | 34,288 | △1,128 | 33,160 |
| セグメント利益又は損失(△) | 812 | △589 | △150 | 72 | △12 | 60 | 30 | 90 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育研修事業、人材派遣事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。